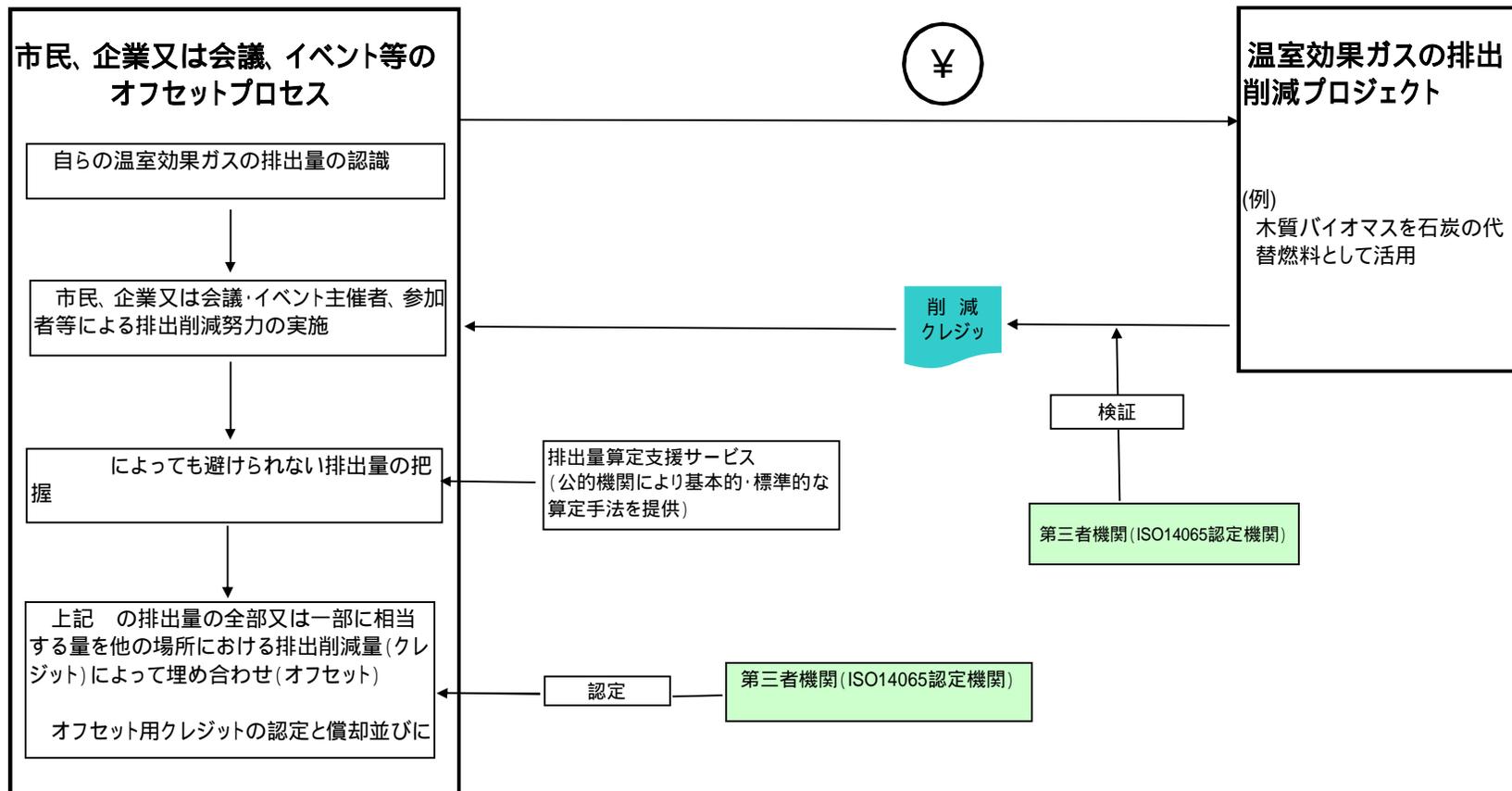


カーボンオフセットの仕組み

カーボン・オフセットとは、市民、企業、NPO/NGO、自治体、政府等の社会の構成員が、自らの温室効果ガスの排出量を認識し、主体的にこれを削減する努力を行うとともに、削減が困難な部分の排出量について、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減量を購入すること又は他の場所で排出削減を実現するプロジェクトや活動を実施すること等により、その排出量の全部又は一部を埋め合わせることをいう。

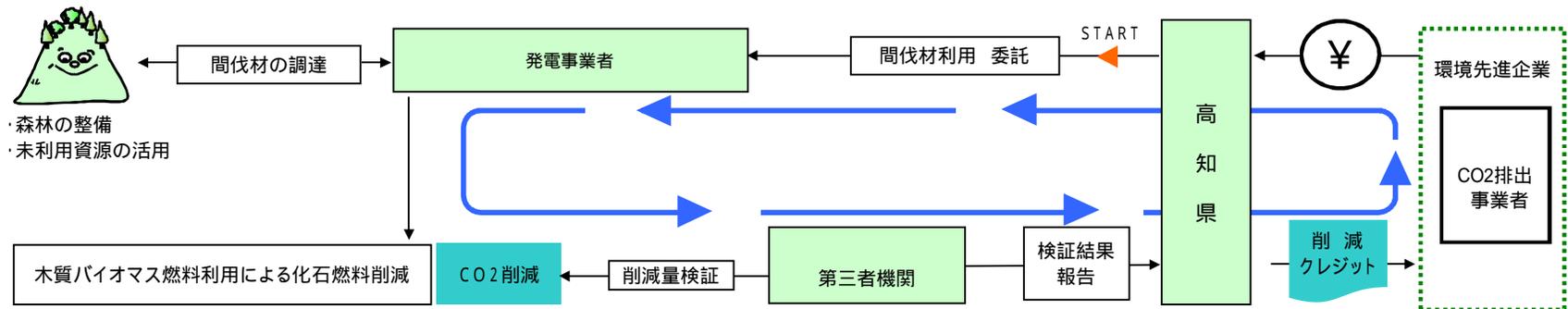


「高知県におけるバイオマスを利用した排出削減プロジェクトの実施及び当該プロジェクトからのVERを活用した株式会社ルミネの事業活動オフセットについて」

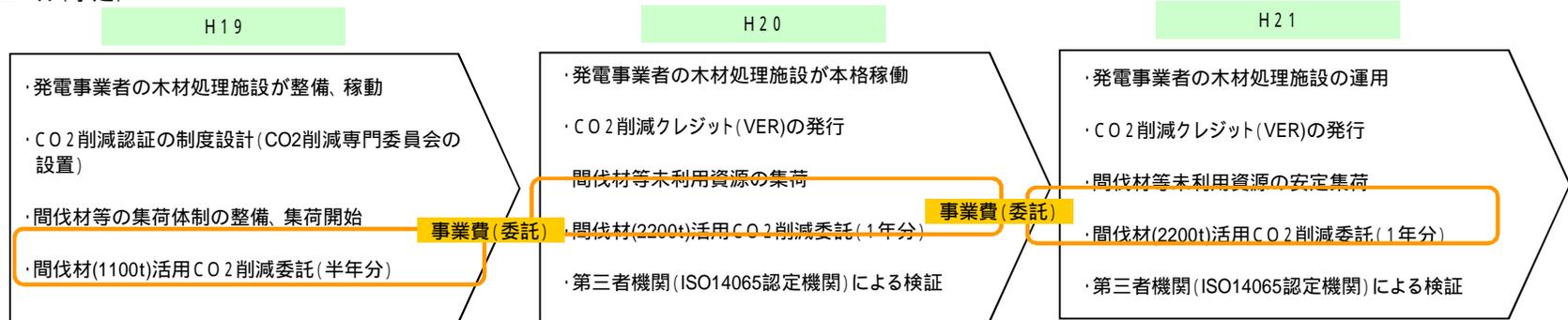
制度の概要

- ・間伐材をボイラー用燃料の石炭代替燃料として活用することによって「CO2排出量」を削減。
- ・京都議定書並びにISO14064-2(温室効果ガス排出量削減プロジェクトの要件)・ISO14065(温室効果ガスに関する審査機関の要件)に準拠した制度設計を行い、産出された検証済み排出削減クレジット(VER)の品質と信頼性を確保。
CDM方法論AM0036「ボイラーにおける熟生産用燃料に関する、化石燃料からバイオマス残渣への燃料転換」を準用。
自主参加型国内排出量取引制度で蓄積されたモニタリング方法&検証方法の知見・経験を活用
- ・高知県産VERの売却益は、高知県の森林整備費用に充当

内容



スケジュール(予定)



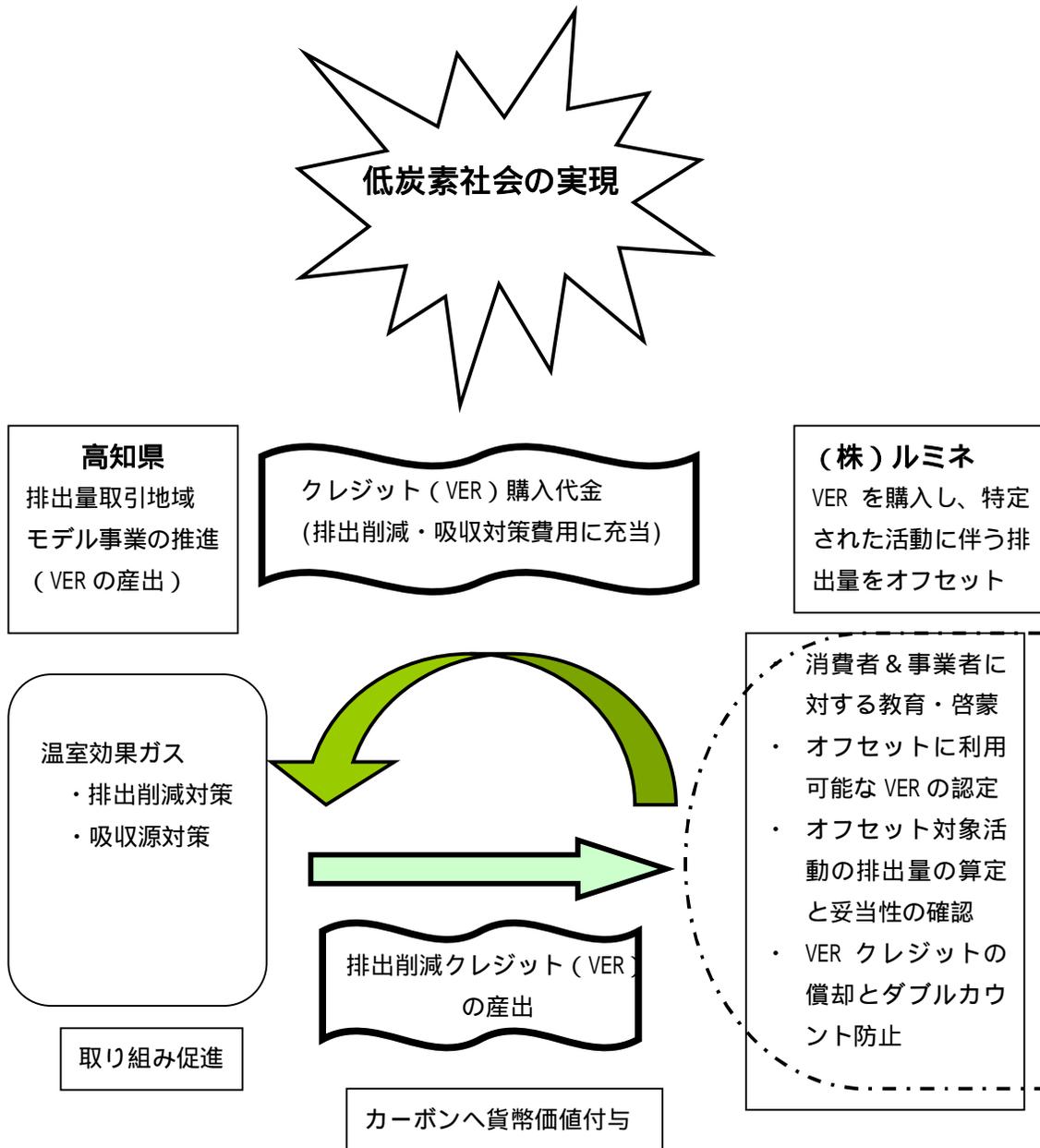


図1 高知県・ルミネモデルの概要



